

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	足関節内果二次骨化障害に対する手術治療に関する後方視的研究
研究責任者	足の外科 滝正徳
研究実施体制	【研究責任者】聖隷浜松病院 足の外科 滝正徳 【研究分担者】聖隷浜松病院 スポーツ整形外科 鈴木浩介 船越雄誠 小林良充
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2021年7月31日
対象者	2010年4月から2020年3月までの間に聖隷浜松病院 足の外科、スポーツ整形外科にて足関節内果二次骨化障害で入院、手術治療された方。
研究の意義・目的	足関節内果の二次骨化障害とは、小児期の約20%に発生する脛骨遠位骨端内側副核が、成長過程で主核と癒合しなかったために生じる比較的稀な足関節内果の分離骨障害です。手術治療には切除または骨接合術の報告がありますが一定の見解はありません。今回、当院での行われた手術患者さんを後方視的に調査して術式による臨床成績の差ならびにそれぞれの利点、欠点を明らかにしたいと思います。
研究の方法	2010年4月から2020年3月までの間に聖隷浜松病院 足の外科、スポーツ整形外科にて足関節内果二次骨化障害で入院、手術治療された方のカルテから後方視的にデータ収集する。 【除外基準】経過観察が1年に満たない方。足関節内果二次骨化障害以外の手術を同時に行った方。 【予定症例数】25例 【症例数の設定根拠】当院で対象患者となる見込み症例数を設定した。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 足の外科 (氏名) 滝正徳 TEL:053-474-2222(代表) 足の外科外来 9:00~17:00 平日